



こころざし

【学校教育目標】
夢の実現に向かって たくましく
挑戦する児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 10 号

令和6年9月20日発行

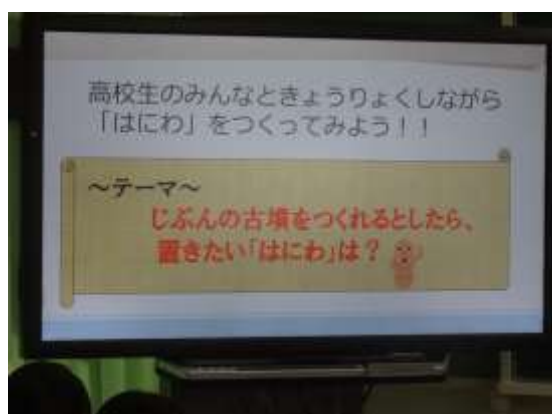
文責 校長 多久島 一仁

唐津青翔高校で韓国学習をしました

9月12日（木）に唐津青翔高校で、韓国学習をしました。青翔高校は、以前から韓国や韓国語についての学習を授業の一つとして取り組まれており、韓国の高校や大学とも交流をされている高校です。系列を選択して学習に取り組まれており、その一つに「韓国文化系列」があります。ここでは、韓国語や日本と韓国の文化や歴史を学びます。

加唐島は武寧王の生誕地でもあるので、韓国についてより関心を高めたい、そして、島ではなかなか接することのない、高校生との交流をさせたいとの思いで、今回計画しました。ちなみにこのアイディアは、去年、担任をしていただいた先生が、子どもたちのことを思って発案されたもので、大変ありがたかったです。

1時間目は、「日本の歴史とはにわ作り体験」でした。今では当たり前のようにあるお墓も、1700年前の日本では、王だけが作ることができました。そのお墓にたくさんのはにわが納められていたわけですが、はにわには人の形だけでなく、船や馬など、いろいろな形のものがありました。そこで、自分の古墳を作るとしたら、どんなはにわにするか、と考えてはにわを作りました。高校生が同じグループにいて、一緒に会話をし、アイディ



アをもらいながら、人型や船や馬や恐竜など、思い思いのはにわを作りました。

2時間目は、高校生が先生になっての韓国語の授業でした。韓国のお金や国旗などもクイズにしながら、楽しく韓国語について学びました。紹介してもらったコンギノリをいう遊びではかなりの盛り上がりを見せました。

午後は玄海海中展望塔に行き、窓からは実際の海の生き物を眺め、壁 360 度のスクリーンでは、3DCG と照明・立体音響で海の様子を楽しみました。

青翔高校へのお手紙の中で、中学3年生が、「たくさんの高校生や先生に話しかけられて、とてもうれしい気持ちになりました。」

と書いていました。普段、あまりできない交流がいい思い出となったことを知り、こちらもうれしい気持ちになりました。



ダンス練習が始まりました

9月17日（火）から文化祭で披露するためのダンス練習が始まりました。今年度も昨年度に引き続き、Dance & Vocal School HSKRT の星子勅次先生においでいただき、練習をしていただきました。

去年のダンスを覚えている児童もいて、とても意欲的に取り組んでいたのがよく



分かりました。星子先生は基本をととても大事にされるので、かなりカッコいいダンスになります。力の抜き方や首の動きなど、様々な体の使い方があることを教えていただけます。

今回のダンスも、スピードが速く、手の動きもステップもレベルが高いものですが、何とか5回のレッスンと、それ以外の体育の練習や自主練習で、見る人を感動させられるようなダンスに仕上げていけたらと思います。

